



# 美しい郷へGO!!

美しい郷発 第17号

平成23年3月22日発行

発行 白鷹町美しい郷づくり推進会議

環境ニュース部会

TEL 0238 (85) 6131

FAX 0238 (85) 5275

～ホテルを呼び戻そう最上川～

## 「白鷹町環境フォーラム」開催

2月13日(日)白鷹町文化交流センター「あゆむ」を会場に、「白鷹町環境フォーラム」が開催され約80名の方にご参加いただきました。

はじめに、米沢中央高等学校副校長の佐藤五郎氏より「水環境と暮らし」と題してご講演をいただきました。最上川やその支流について、今までの水質調査の結果を基に、私達の生活がどのように影響しているのかや、米

沢中央高等学校科学部の生徒と一緒に、ゴムボートを使って行っている清掃活動など、現在の状況をグラフや写真をまじえながらわかりやすくご説明いただきました。また、水環境を守っていくために私達ができることとして「ま

ずはフットパスなど地域の河川環境に親しむことが大切」とのお話がありました。

続いて、白鷹町美しい郷づくり推進会議の水環境部会の活動を、部会長の石川重二さんより紹介しました。鮎貝の中丸池をぎっしり覆っていた水草「ヒシ」の刈り取りや、泥団子投入の作業の様子、また町内の学校プールなどでEM発酵液を使った清掃の様子などを紹介しました。

最後に佐藤氏より「水環境の整備は時間がかかり、子供たちをまきこんで環境について考えていくこと

が大事」と講評をいただきました。

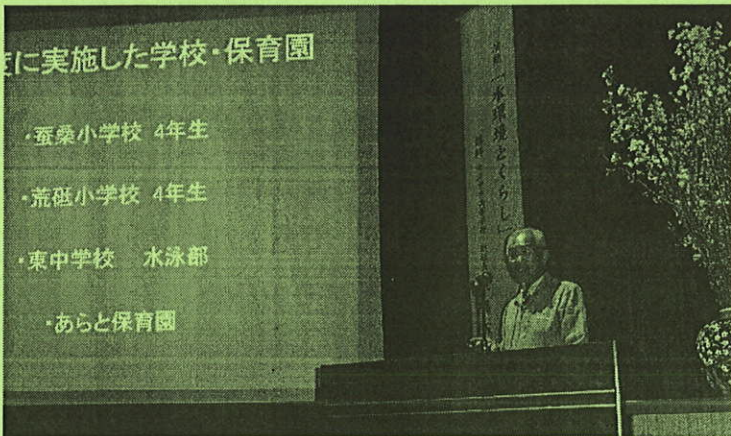
最上川をはじめ、かけがいのない水環境を次世代に引き継いでいくために、白鷹町美しい郷づくり推進会議から、町民のみなさんへ次のような提言をさせていただきました。

### <みんなで取り組もう>

1. **ごみは屋外に放置しないようにしましょう。**  
(発砲スチロールや、プラスチック、ビニール、ペットボトルなどは軽いので、強風で飛ばされ河川に入ります。小屋の中など屋内に置きましょう。)
2. **水辺の土手などへの除草剤の使用をやめましょう。**  
(水路に入り、魚や小さな生物の死滅につながります。また、豪雨などの際の、水路や土手崩れの原因になります。)
3. **畑や、牧野に堆肥の野積み放置はやめましょう。**  
(雨が降る度に、ダークグリーン雨水が流れ、河川の水質汚濁の原因になります。堆肥を運んだら、なるべく早くすきこんでください。また、長期放置が見受けられたらお互いに注意しましょう。)

### ～参加者からの感想～

- ・専門的で、めったに聞くことのできない貴重な話でした。
- ・自分の生活スタイルを反省する機会にもなって、参加してよかった。
- ・私達一人一人の心がけが最も大切なことだと痛感しました。
- ・最上川に流れるごみの量の多さに驚いた。水質調査や清掃活動などをしていただいている米沢中央高等学校の生徒さんに感謝します。
- ・廃油から作った石けんを使ってみたいと思います。
- ・家や川の周辺などで除草剤を使っている人や、不燃物でも屋敷内で燃やしている人がまだいる。そういう人に勉強してもらいたい。



#### に参加した学校・保育園

- ・蚕桑小学校 4年生
- ・荒砥小学校 4年生
- ・東中学校 水泳部
- ・あらと保育園



- ・できるだけ家族一緒の部屋で団らんの時間をすごしましょう。
- ・カーディガンは+2.2℃、ひざ掛けは+2.5℃、体感温度が上がります。
- ・カーテンは厚手のものを使いましょう。
- ・日光を上手に取り入れましょう。
- ・こたつ敷きの下に断熱シートを敷きましょう。

- ・電気ポットより保温ポットのほうが、断ぜんお得です。
- ・炊飯器の保温をやめて食べるときに温め直せば省エネ!
- ・冷蔵庫の中は、冷気が回るよう詰め込みすぎない。



## 冬の省エネ

かしこく暮らす

- ・部屋の電気はこまめに消しましょう。
- ・省エネ電球に交換しましょう。
- ・使っていないのに消費している待機電力をカットするため、省エネタップを使ってみましょう。



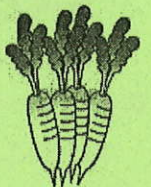
- ・お風呂は続けて入りましょう。
- ・半ふたで入れば、保温効果アップ!
- ・放熱を防ぐために暖房便座のふたは閉めましょう。
- ・暖房便座の設定温度を1℃下げるだけで、1年間で580円のお得!

さあ～みんな

## エコクッキング

1月28日、東根地区公民館で行われたエコクッキングには12名の方が参加されました。

「台所からエコを考えてみよう」と題した講座が行なわれ、大根をまるごと使った料理のしかたと後片付けの方法等も聞いたあと、大根料理4品をつくりました。みんなで感想を話しながら、楽しく試食することができました。



2月19日、荒砥小学校母親委員会と荒砥地区公民館の共催で、エコクッキングが行われ25名の親子が参加されました。

子供たちは、エコかるたをしながら環境について学び、じゃがいももちづくりに挑戦しました。

お母さんたちは、「台所からエコを考えてみよう」の話を聞いた後、大根料理3品をつくりました。でき上がった料理を親子で一緒にいただきました。



## ～限りある資源を大切に～

3月11日午後発生した東北地方太平洋沖地震により被害を受けた方々に謹んでお見舞い申し上げます。

わが町では甚大な被害はありませんでしたが、2日間にわたる停電により、寒くて心細い一夜を過ごしました。また、置賜地方の給油所のほとんどが品切れとなり、車に頼って生活している私たちは痛烈な打撃を受けました。

あつて当たり前と思っていたものが、無くなってはじめて大切にしようと思つては遅いのかもかもしれませんが、私たちがいつも声を大きくして言い続けている

“省エネルギー”そして“エコドライブ”  
今こそはじめましょう!!

